

サポーターズタイムズ Supporters Times



秋葉けんやサポーターズ事務所
自由民主党宮城県衆議院比例区第一支部
〒981-3121 仙台市泉区上谷刈4-17-16
Tel 022(375)4477
Fax 022(375)0057

衆議院議員秋葉けんや政策・活動レポート

購読料 年額6,000円
編集 集 (株)アクトジャパン

官僚主導から政治主導へ、省益より国益優先の政治へ

去る6月14日に発生した「岩手・宮城内陸地震」では、マグニチュード7.2、最大震度6強を記録し、死者12名、行方不明10名(7月1日現在)という大きな被害をもたらしました。謹んでご冥福をお祈りするとともに被災者の皆様に心からお見舞い申し上げます。行方不明者の徹底捜索はもちろんライフラインの早期復旧など一日も早い復興に向けて尽力して参ります。



岩手・宮城内陸地震で増田総務大臣と共に現場視察を行う秋葉政務官

私は消防庁を所管している総務大臣政務官として、増田総務大臣や荒木消防庁長官とともに被災地を視察し、山が丸ごと消えたといっような直下型地震の破壊力の凄まじさを目の当たりにしました。山間部のため、地滑りや落石で道路が寸断され、孤立集落も発生しましたが、ヘリコプターの機動的な運用によって迅速かつ効果的に救助・救援活動が実施できたと思います。今後は、夜間や悪天候でもヘリの運行が可能なのか、あるいは緊急地震速報の精度を高めることなどあらゆる状況を想定して災害対策を再点検していく必要があります。

さて、通常国会が156日間の会期を終えて閉会しました。衆参で多数党派が異なるいわゆる「ねじれ国会」の中で、野党による審議拒否や対案なき反対など、政策論争よりもはじめに政局ありきの無責任な対応が目立った国会でした。8月末から始まる予定の臨時国会では、「ねじれ」のマイナスを克服するために、旧来の慣例に縛られることなく、同意人事の問題をはじめ合意形成における手続等の不備を整理し、新たな話し合いのルールを構築していくことが求められよう。

いずれにしても、例年に比べて全体の法案の成立数はぐっと減った。しかも修正されて可決する法案の数が随分と増えたことにも着目する必要があると思う。官僚主導から政治主導を目指す「国家公務員制度改革基本法」も修正合意された法案のひとつだ。その柱は、幹部人事(審議官や部局長級以上の指定職)に関して新設する「内閣人事局」で一元管理することによって、人事権を各省から召し上げ、政治主導を強化するとともに、「省益あって国益なし」といわれてきた縦割りの行政や官僚機構、各省割拠主義を打破し、風穴を開けることにある。

今でも事務次官や局長の人事は、正副官房長官による閣議人事検討会議で最終決定しているが、各省の原案を追認するだけに形骸化しているのが実態だ。新制度では、官房長官が幹部職員の候補者名簿を作成し適格性を審査し、任免に際しては、首相と官房長官との事前協議を閣僚に義務付けた。

また、首相を補佐する「国家戦略スタッフ」や、閣僚を補佐する「政務スタッフ」を新たに創設し、官民から人材を公募する。さらに、政官接触の記録の作成や公開による透明化や、1種試験合格者が幹部候補生となる現行のキャリア制度を廃止し、新たに総合職、一般職、専門職の3つに区分して、能力本位で全職員に幹部登用の機会がある制度に改める。

今回の基本法は、改革の方向性や時期を定めたプログラム法であり、今秋スタートする天下り規制とともに、1947年の国家公務員法の施行以来、約60年ぶりとなる官僚機構の大改革といっような良い。今後の流れは、まず、来年の通常国会に内閣人事局の設置法案を提出し、その他の規定については2011年までに関連法案を仕上げ、2013年には新制度への全面移行を目指すというプロセスを辿ることになるが、細部の制度設計において決して骨抜きにならぬよう留意して取り組んでいきたい。

総務大臣政務官
衆議院議員

秋葉賢也

秋葉代議士・今日も総務大臣政務官として東奔西走の日々！

～ 地元住民の声を国政へ！～

「宮城県市長会行政懇談会」に出席された梅原仙台市長をはじめ東北市長会の皆様が、要望活動のため総務省を訪れ、医療格差の是正（産科医・小児科医・麻酔科医等の確保）や道路整備財源の確保等についてご意見・ご要望を述べられました。公立病院改革の実施に必要な財政措置の実施や暫定税率失効期間中の道路整備に必要な財政措置の実施に向け、取り組んで参ります。



「岩手・宮城内陸地震」発生後、2日間にわたり被災地を訪れ、栗原市役所において佐藤・栗原市長と三浦・宮城県副知事から被災状況について報告を受けると共に要望を承りました。



「岩手・宮城県内陸地震」で現地視察に訪れた増田総務大臣と、避難所での生活を強いられている被災住民の皆様を激励する一方、寸断された道路の復旧作業現場を訪れ被災地の現状について担当者から説明を受けました。行方不明者の安否確認を続けると共に同時に、ライフラインの復旧、2次災害の恐れがある土砂ダムの撤去、激甚災害指定等の措置を早急を実施してゆくことが重要です。

～ 安全な都市の構築のために、官民一体となった防災技術開発を～



高規格救急車の内部にて

東京ビックサイトで開催された「東京国際消防防災展2008」に総務大臣政務官として招待頂き、消防演習・デモンストレーション見学をはじめ、はしご車・ポンプ車への体験乗車等、首都東京が直面している自然災害・人的脅威等のリスクに応じるための防災最先端技術を学ぶことができました。安全・安心な都市の構築には、官民一体となった積極的関与が重要であることを改めて確認致しました。



高さ40mまで到達可能なはしご車の前で

～ 放送・通信技術の発展と向上に向けて～

2011年の完全デジタル化に向けた対策を検討するために、第二回地上デジタル放送総合対策本部が総務省で開催されました。地方における完全デジタル化の実現には、市町村への周知を徹底することが必要であり、政府一体となった体制強化をすすめて参ります。



第二回地上デジタル放送総合対策本部にて

電気通信事業者協会の定例総会懇親会にお招き頂き、ソフトバンクの孫社長と懇談させて頂きました。情報教育の充実の重要性について孫社長のご見解を伺い、わが国の発展に不可欠な情報教育の拡充を政府が率先して図る必要があると強く感じました。



総務大臣政務官就任記念

～秋葉健也君を励ます会 in Tokyo～

昨年8月に総務大臣政務官に就任をして早10ヶ月が経りました。公務遂行に尽力してきた秋葉政務官を激励するために、東京で初めて「励ます会」が開催されました。

当日は、増田寛也総務大臣、『新しい風』会長の武部勤衆議院議員、大島理森自民党国対委員長、塩崎恭久元内閣官房長官など、日頃より大変お世話になっている先生方をはじめ、多くの皆様方のご参加を得て、盛会のうちに終了することができました。

ご出席頂いた皆様に、この場を借りて、心から深く御礼申し上げます。



増田寛也総務大臣



武部勤「新しい風」会長

秋葉政務官、地方における年金記録確認・行政評価等の現状視察を実施!

地方での年金記録確認・行政評価及びケーブルテレビのデジタル化の現状を調査するため、東京、沖縄及び金沢の関係機関を総務大臣政務官として視察致しました。

まず新世代地域ケーブルテレビ視察整備事業を間接的に進めている宮古テレビの藤村社長と懇談させて頂き、デジタル化の現状について意見交換させて頂きました。



総務省行政評価局は、行政内部にありながら、各府省とは異なる立場から行政運営の改善をはかるため、主に合規性、適正性、効率化等の観点から、行政機関の常務の実施状況を調査し、その結果に基づき行政機関に勧告を行っています。今回の視察では、東京・沖縄・石川行政評価事務所の各担当から業務概況について詳細な報告を受けました。



石川行政評価事務所にて

また総務省の年金記録確認第三者委員会の視察も行い、職員を前に訓辞し、年金記録問題の解決のために委員会が適切且つ迅速に事案を処理することが重要だと述べました。



年金記録確認東京地区第三者委員会にて



国家公務員退職手当の返納対象拡大へ!

秋葉代議士が政務官として取り組み、総務省の「国家公務員退職手当の支給のあり方に関する検討会」がまとめた報告書に従い、総務省では、臨時国会において国家公務員の退職金返納対象拡大等を盛り込んだ法案の成立をめざしています。

【新たに返納対象となるのは、次の通り】

◎退職手当の支給後、在職中の不祥事が発覚した場合

→現行法の禁固以上の刑が確定した場合に加え、懲戒免職に値する違反行為も返納の対象に!

◎不祥事を起こした公務員が死亡した場合

→遺族への不支給や遺族からの退職金返納も可能に!

『新待機育児ゼロ作戦』の実施で、少子化に歯止めを!

政府は、定員いっぱい「認可保育所」に入れずにいる子供達を10年間でゼロにするための『新待機育児ゼロ作戦』を発表しました。

《10年後の目標》

◎保育サービス(3歳未満児)の提供割合

現行 20% → 38%

(利用児童数(0~5歳児) 100万人増)

◎放課後クラブ(小学校1年~3年)の提供割合

現行 19% → 60%

(登録児童数 145万人増)



《具体的施策》

☆保育サービスの量的拡充と提供(児童福祉法の改正)

保育所に加え、保育ママ、認定こども園、幼稚園の預かり保育、事業所内保育施設の充実!

☆施策対象を小学校就学後まで拡大

小学校就学後も引き続き放課後児童クラブ等の生活の場を確保!

☆地域における保育サービス等の計画的整備

(次世代育成支援対策推進法の改正)



マダガスカル大統領来仙！



5月30日、第4回アフリカ開発会議（TICAD IV）閉会后、マダガスカルのラヴァルマナナ大統領ご夫妻が来仙され、歓迎晩餐会が開催されました。

仙台市の八木山動物園では、動物の自然の生態や進化の過程の学習を通じた総合的な環境教育の拠点づくりを目指し、昨年10月にマダガスカル共和国のチンバザザ動物園との間で共同声明を発表しました。この共同声明に基づき、両園間で5月31日に包括協力協定を締結することとなり、来日中のラヴァルマナナ大統領を仙台にお招きし、同協定書の調印式が行なわれました。

秋葉代議士は、2006年7月に日・AU友好議連訪問団の一員として同国を訪問した際、ラヴァルマナナ大統領に面会する機会を頂き、それ以来のご縁があり、この両動物園の協力・交流の発展には感慨も一入の様子。今後は南の島のアイアイが仙台にやってきて、ホームシックにならないような受入れ環境の整備が重要です。

秋葉けんやと語る会 ～ 国政報告会 ～

泉区

日時 7月18日（金）19時～20時頃
場所 根白石市民センター（大会議室）
（泉区根白石字杉下前24）

宮城野区

日時 7月19日（土）19時～20時頃
場所 岩切市民センター（講義室）
（宮城野区岩切字三所南88-2）

若林区

日時 7月25日（金）19時～20時頃
場所 荒浜コミュニティセンター（大広間）
（若林区荒浜新1丁目3番3号）

☆お近くの会場へお気軽にお越し下さい。

ひしひしよ話

コンピュータソフト開発、主に販売管理システムの構築を約20年間、損害保険代理店を10年、まったく畑違いの秘書になって3年が過ぎました。

経験してきたこれらの仕事に共通することは、クライアントの要件を知る事から始まり、案件を解決するための方策・時間・コストが許容の範囲内であるかを常にチェックすることです。

秘書の仕事も、相手方の要件を間違いなく把握し、関係者へ伝えひとつひとつ処理していくという点で共通しています。選挙時以外の秘書の仕事内容をきれいに分けることは難しいのですが、概ねの配分は各種会合の出席2割、要望・苦情の処理3割、支持者拡大・保全4割、事務処理1割ということでしょうか。代議士が地元に戻れるのは基本的に週末だけなので、それ以外は我々秘書が留守を守っているわけですが、代議士の思い通りに動くまでには至っていないのが現状で、まだまだ秘書としてはヒヨコ子です。

政治離れが端的に現れている選挙の投票率の低下、本来政治は生活に密着しているはずなのに、小さな声を積み上げて国政に反映していくという我々の努力がまだまだ足りないのでしょうか。政治離れを少しでも回復し、信頼できる政治を取り戻すためにも地道に精進して参ります。

今後とも皆様のご指導、ご協力宜しくお願い致します。

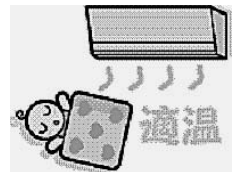
－ 若生 博康（わこう ひろやす）プロフィール－
昭和24年12月8日生まれ 58歳
妻と2人暮らし 子供2人、孫2人
趣味は映画鑑賞、園芸



ご存じですか？ チーム・マイナス6

6月は環境月間、そして今月開催の洞爺湖サミットのメインテーマも地球環境問題と、このところ全国各地で環境にまつわるイベントや啓蒙活動が行われております。

「ところでチーム・マイナス6ってスポーツチーム？」いえいえ、実はこれは温室効果ガス排出量6%削減を目指す国民的プロジェクトなのです。温暖化の原因となる温室効果ガスを1990年より6%減らす、この京都議定書が定めた日本の目標を達成する実行期間が今年4月から始まっています。私たち一人ひとりがチームのメンバーであるという意識のもと、毎日の家庭や職場でのライフワークスタイルを見直す、例えば、冷房は28度に設定してクールビズで過ごす、冷蔵庫に食品を詰め込み過ぎないなどそんな小さなところから、地球を守るといった大きなプロジェクトに参加したいものです。



秋葉 賢也（あきば けんや）プロフィール

- 昭和37年7月3日宮城県生まれ、45才。
- 角田高校を経て、中央大学法学部卒業、東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了。
- 財松下政経塾卒業（第9期生 宮城県初）を経て、宮城県議会議員（三期）を務める。
- 現在、総務大臣政務官、衆議院議員（二期目）。
- 著書：「地方議会における議員立法」（文芸社）、「東北の夢創造」（ぎょうせい）。
- 趣味：野球、空手などスポーツ、音楽、映画。



私たち、杜の都・仙台
秋葉党